

## 第3回理事会を開催

令和5年12月25日（月）、第3回理事会を友愛会館で開催したので報告します（協議事項のみ）。

### <議長あいさつ>

昨年来のウクライナ戦争に続いて、今年はパレスチナで戦闘が起きた。これで思い出したのは、1956年11月のハンガリー動乱とスエズ危機である。どちらも米ソ超大国が関わった。紛争は大国の勢力圏のはざままで起きると言われている。今のパレスチナ問題は、当時の力関係とは違うが、構造としては同じようなものである。人類が進歩しているところと、そうでないところがあることを実感している。

最後に、今年一年の皆さんのご協力に感謝する。そして KAKKIN 運動が新しい窓口を開くことになればと思う。来年もよろしくお祈りします。

### <協議事項>

#### 1. 新会員について

日本自動車部品産業労働組合連合会（部品労連）の新規加入を確認した。

#### 2. 役員の交代および組織名称の変更について

- ・副議長（電力総連） 坂田幸治→壬生守也
- ・副議長（交通労連） 園田龍一→織田正弘
- ・事務局次長（電力総連） 酒井昌也→大森 勇
- ・常任理事（電力総連） 末竹 亮→木村 堅
- ・常任理事（基幹労連） 森岡祥浩→坂本 彰
- ・常任理事（KAKKIN 長崎） 中山好文→尾崎真太郎
- ・理事（三菱自工労組） 永瀬秀樹→藤川裕之
- ・理事（ヤマハ労連） 久保順裕→平野雅紀
- ・理事（関東ブロック） 竹森義彦→新 敦
- ・組織名称の変更 凸版印刷労働組合連合会（凸版労連）  
→トッパングループ労働組合連合会（トッパングループ  
労連）

#### 3. KAKKIN キャッチコピーの選考結果について

8月にキャッチコピーを募集したところ、281点の応募があった。その中から最優秀賞1点、優秀賞12点を決定した（以下、敬称略）。

##### ■最優秀賞

「核のない未来を創る 100年先の平和のために」 石川雅子（基金労組）

##### ■優秀賞

「続けよう 平和の祈り 築く未来」 安藤直樹（電力総連・ネクセライズ労組）

「実現しよう核兵器のない平和な世界を つなごう原子力と共に安心社会の未来へ」  
秋山美枝子 (SUBARU 労連)

「平和で豊かな未来を。KAKKIN とともに」  
小西智久 (味の素グループ 労組)

「平和な未来へ核兵器廃絶 正しく使おう原子力」  
武藤裕次 (東京電力労組)

「平和、発展、そして未来のために」  
乙黒絵里 (味の素労組)

「KAKKIN～平和の礎、未来を築く力～」  
久田恭子 (電力総連)

「核なき未来へ 平和な世界を」  
佐々木冴子 (凸版印刷労組)

「どんな時代でも、核兵器のない平和な世界を」  
谷川文朗 (日産労連)

「核兵器廃絶と原子力の平和利用で 世界平和と明るい未来を創造する」  
浅利清崇 (基金労組)

「なくそう核兵器 めざす世界平和」  
伊藤 匠 (電力総連・東京パワーテクノロジー労組)

「未来へ繋ぐ 核なき世界」  
小野 諭 (電力総連・東京エネシス労組)

「核なき世界 未来へ続く 平和の道」  
河野博喜 (電力総連・ネクセライズ労組)

#### 4. ブロック会議費用の配分について

北海道から九州まで、全国9ブロックでの会議開催のための費用の一部を本部から支出することを確認した。

#### 5. 研究団体への寄付について

被爆者支援活動の一環として、KAKKIN キャンペーン会計より、放射線が人体に与える影響を研究している2団体へ支出することを確認した。

- ・量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門  
放射線医学研究所 放射線影響研究部 (引き続き)
- ・福島イノベーション・コースト構想推進機構 東日本大震災・原子力災害伝承館  
(新規)

#### 6. 当面の KAKKIN キャンペーン活動の考え方について

被爆者が高齢化し減少する中、かねてより将来的にキャンペーン活動をどうするかという課題提起を受けてきた。当日は、いまずぐ何かを決める、結論を出すものではなく、現時点での考え方をまとめておくためのものであるとして、意見を頂戴した。

#### 7. 第64回全国代表者会議について

- ・議案書を審議した。1月16日の常任理事会で最終確認をする。
- ・本日の理事会で提案、確認ができなかった第3号議案(予算)と第4号議案(役員)については、常任理事会に委任することを確認した。

#### 8. 当面の日程について (略)

以上